築山庭造傳
下

飛泉穿碧樹
山色滿琴心

沈雄厚壮體
すくやかにしてたかう
しきあしらひ
ある
すがた
誓願寺竹林院庭

築山庭造傳下
連珠不斷體
立石樹木の
縁とよく
つゞける
すゝき
本國寺中
勧持院庭
築山庭造傳下
二
三

雄豪空曠體
景ゆたりとして
ひろき
すがた

形容浩然體
君子乃氣象

寫眞超邁の體
山林のすがたを
うつして見るよ
すぐれたる景

翕蓄優游の體
やさしき景と
かのうよふく
おもしろき
すがた

大龍寺辻子
光徳寺庭
雄偉清健體
おとなしく
すやう
なる
景

融化渾成體
ゆうやうみして
景をあひこにり
なきすゝしと

意中帯景體
よろづの景に意を
つくれハ多く共
ことやうあるすじく

神造自如體
自然乃景れ
うつしうる
すゝく

誓願寺中
長仙院庭
離州淵永體
山水造の
て

清細閑雅の體
きよくこまやかなり
閑逸なりと
すべし

丸山貞阿弥庭
相阿弥作
撿束厳整體
山水格式〱
みゆる
すぐる

温栗敦厚の體
温和して
にあはく
造りうる
すがる

追分走井庭図
景中含意体
景乃中よ
くハしを
意とゆく
海せる
すがた

高古渾厚體
俗と
はなれて
すかたよ
き也
すへし

神清安寂體
神妙にして
清浄に
あそび
たる
すがた

風情耽介體
庭乃風情
けとりき
すがく

築山庭造傳 下

典雅温淳體
庭のてい
ゆさりよ
のどやかなる
すがた
清水成就院庭
烏帽子岩
築山庭造伝

風景切暢體（ふうけいせつちやうのてい）

形制厳整體
座乃形ごそうして
たゞしき
大徳寺
大仙院庭
相阿弥作
臥牛石
亀甲石
長船石
虎頭石
仙帽石
明鏡石
達摩石
沈香石
不動石
観音石
韓馬石
佛盤石

築山庭造傳下
微密閑艶體
壬生地蔵院の庭

平易風雅の體
とやうすくなく
やすらかにして
風雅ある
すがた

築山庭造傳 下

嵯峨
天龍寺庭
夢窓國師作
委曲詳明體
山谷瀧池島の
あしらひ
くはしく
あざやかなる
すぐる

## 庭造傳跋

此村援琴翁。閑居乃地をトて。石ハ漱ぎ流ハ枕すといへる遺風をしたひ。築山やまのおもしろき景をうつし。其かりそふ嘯吟し。道乃人を求め。世の塵ハ拂ふなぐさめとす。こゝろざし人れどゝなるにしたがひ。好人のつくり至れ庭乃ありさまハ。こゝろしこ功を撰び。其品をえらび體をなぢ畫がける人ハたよりて。ことく圖ハ写しいれね致景を求しるたすけとせり。凡泉石の眺望ハよ川とくいみしきなをさぐる者。それさめしなきよしもあるに。やさしきなかめなる友ハ古き物語乃中ハも。前栽築山も風流



を述ることあまさけりそとの木ぶら山のこずゑひ面白ささこゝろなる池乃みんひろく志なして。めでゝくつくりなしたるとぞひ。或ハ中河乃ともりなる家あん。このはなをれいちゝ涼しきゝげハ結るとせる。或ハなおむおりじき山のときてをあらためてとぞひ。池なハちいさ兄山と聳ぞてれせきとぞひ。亀の上ハ山もたつ○じれ歌などゝ。皆造りなせる庵れ蜘ぜいをあらハせり。援琴翁れあめるば老ハ。こつくり山なの遠異を味ハ趣と他の人なをたのしめんと。津ねハ櫻木ハちりばめて。永く世の傳へしなせり。一日予これを繙き閲して。其志の

深きに感じ。おりに車岩の松より下りけり。いや
しき言葉のおけなとこすれ。巻乃終に筆紙
加ふるもおこがましや

享保乙卯年弥生日　藤井愼齋書